

平成 28 年度 十日町市中魚沼郡道徳部 活動報告

部長 江口 正 洋

- 1 研究主題 「豊かな人間性や社会性をはぐくむ道徳教育の推進」(継続)
～特別の教科 道徳の授業実践に向けての取組～

2 研究の概要

上記の研究主題を掲げて4年目となる。各校での先行的な実践や先進的な取組が少しずつ蓄積されてきている。平成30年度は小学校、平成31年度は中学校での「特別の教科道徳」(道徳科)の全面実施を目前に控え、郡市全体での研修を元に、各校における研修や指導計画作成をさらに進展させる必要が高まってきている。

さらに、「考える道徳」「議論する道徳」への授業の質的改善に向けて、更に鋭角的な研修を深めていかねばならない段階となっている。より多くの郡市教育振興会員の参加を促し、道徳科についての理論的な講義や、先進的な授業実践の公開により研修を深めて、自校での実践や研修へと結びつける取組を本年度も継承している。

3 研究の実際

本年度はとくに授業改善に主眼を置いた講義を元に、各校での道徳科に向けての準備や研修の取組について情報交換を行った。8月24日に十日町市立十日町小学校・ふれあいの丘支援学校を会場として借用し、以下の内容で研修を深めた。

- (1) 講演 演題 「『特別の教科 道徳』の実践に向けて備えること」

講師 日本道徳教育学会新潟県支部副支部長 南魚沼市立塩沢小学校長 岡村 秀康様

- 検定教科書使用：地域資料等の指導時間確保が必要
- 道徳科の評価：ポートフォリオ等の蓄積が大切
- 考える道徳・議論する道徳への授業改善
 - ・問題解決的学習：個別→ペア(グループ)→学級→個別
 - ※PISA型道徳授業の実際「2つの意見」の事例
 - ・体験的学習：スキルトレーニング等の活動が有効



- (2) 各校情報交換 自校の取組レポート発表と少人数グループ協議

各校の授業改善及び指導計画改善に向けての進捗状況を協議した。その中で「授業改善に向けての校内研修の在り方」や、「評価に対する不安」「指導計画作成の時機について」を中心に話し合いが活発に行われた。

- (3) 研修成果の共有 参加者感想・参考資料のスクールオフィス上での各校送付

4 成果と課題

参加者からは「授業者がより広い視野をもち、公平な視点で子どもたちの声を聞くこと。」「ワークショップにより、授業づくりを具体的に考えられた。」など、肯定的な評価が多く聞かれた。今後は、教科用図書についての研修機会、そして、指導計画作成の要点など、さらに具体的な課題の解決をめざして研究を進めていきたい。